

日本語タイトル<14pt ゴシック, Arial> English Title <12pt Arial>

- 著者 1, 所属機関略称, 所属機関住所, E-mail: <10pt 明朝体, Times>
著者 2, 所属機関略称, 所属機関住所, E-mail:
Author1, Affiliation, Address <10pt Times>
Author2, Affiliation, Address

This is a simple example of how to prepare the paper for JSFM Meeting. The headings should appear as above. The instruction is written in the main body. This is a simple example of how to prepare the paper for JSFM Meeting. The headings should appear as above. The instruction is written in the main body. This is a simple example of how to prepare the paper for JSFM Meeting. The headings should appear as above. <Abstract 100 – 150 words. 9pt Times>

1. 提出物 <9pt ゴシック, Arial>

提出物は以下の2点です。<9pt 明朝体, Times>

- (1) 講演要旨 (PDF, 印刷用) : A4版2段組1枚, 白黒のみ
- (2) 講演拡張要旨 (PDF, CD-ROMへの掲載) : A4版2段組, 10枚以下 (標準2~4枚), カラー可

ただしPDFのファイルサイズは3.5MB以内とします。この容量を超える場合には、実行委員会までご相談下さい。

印刷物として発行するのは講演要旨をまとめた要旨集のみです。講演拡張要旨はCD-ROM拡張要旨集にして、要旨集と一緒に年會に参加・登録された方に配布します。

講演要旨、講演拡張要旨のPDFファイルは、以下のようにして作成して下さい。まず、Word、TeX等の適当なソフトウェアを用いて、図表すべてを貼り込んだ原稿を作成して下さい。その後、Adobe社製Acrobatを用い、Acrobat5.0以上互換フォーマットでPDFファイルに変換して下さい (PDFファイルの作成が困難な方は、実行委員会までE-mailでご連絡下さい)。作成したPDFファイルについては、できる限り、複数のPC上で文字化け等が発生しないか確認の上、ご提出下さい。特に、講演要旨は必ず印刷して図の解像度などをご確認下さい。

なお、講演要旨および講演拡張要旨のPDFファイルは、ホームページ (<http://www2.nagare.or.jp/nenkai2011/>) の記載にしたがって提出をお願いします。

2. 原稿用紙

A4版用紙の上下に20mm、左右に15mmの余白をとり、本文は原則として9ポイントの文字を使用して印字して下さい。また、表題、著者名、所属、英文要旨の部分を除いて2段組みで作成して下さい。英文原稿も受け付けますが、その場合でも2段組みと上下左右の余白を守って下さい。

ページ番号は、講演拡張要旨のみフッターに1から付けて下さい。講演要旨には付けなくて下さい。

3. 体裁 (講演要旨、講演拡張要旨とも同じ)

- ・ 邦文表題 : 14ポイント・ゴシック体, Arial フォントで用紙中央に印字する。なお、表題、著者名の変更はできません。
- ・ 英文題目 : 12ポイント・Arial, Helvetica, cm (bold) フォントで用紙中央に印字する。Main Wordsの最初の文字のみ大文字とする。
- ・ 邦文著者名 : 10ポイント・明朝体で英文題目との間を1行空け、著者氏名と所属機関略称、住所、(可能ならば) E-mailアドレスを書く。また、講演者には○を名前の前に付ける。
- ・ 英文著者名 : 10ポイント・Times, Times New Roman, cm フォントを用い、英文で著者名、所属機関名、住所を書く。

- ・ 英文要旨 : 9ポイント・Times, Times New Roman, cm フォントを用い、英文著者名との間を1行空け、100~150words程度で幅150mmに収まるように印字する。
- ・ 本文 : 英文要旨との間を1行空けて書き始める。
- ・ 章タイトルはゴシック体/Arial フォントを用いる。
- ・ 図表 : 鮮明かつ適当な大きさのものを、Fig.1のように本文中の参照する文章近くの適当な位置に貼付する。図表中の文字及び表題は英文とする。
- ・ 文献 : 例えば、この⁽¹⁾のように引用し、末尾にまとめる⁽²⁾。

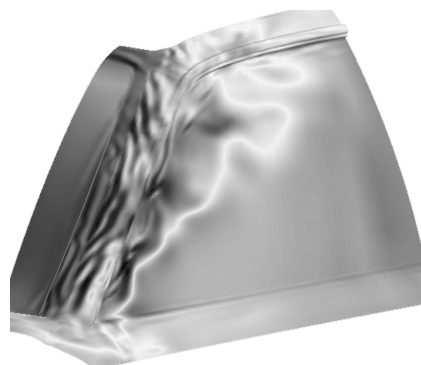


Fig. 1 A sample of figure

4. 原稿提出期限

講演要旨・講演拡張要旨ともに **2011年7月18日(月)**です。提出期限を厳守して下さい。

5. 原稿提出先

- (3) 講演要旨および講演拡張要旨のPDFファイルは、ホームページ (<http://www2.nagare.or.jp/nenkai2011/>) の記載にしたがって提出をお願いします。
- (4) 問い合わせは、E-mailにてお願いいたします。
E-mail: nenkai2011com@aero.sd.tmu.ac.jp
(日本流体力学会年会2011実行委員会)

参考文献

- (1) 荒川, 谷口, "論文の書式について," 日本流体力学会年会2003, 1 (2003), pp. 1-1.
- (2) Arakawa, C. and Taniguchi, N., "How to prepare the paper," Proc. 17th CFD Symp., 1 (2003), pp. 1-1.